

# 武蔵水路見学会



昭和 30 年代、首都圏では経済成長に伴う人口の増加や生活の多様化により水道用水の需要の増加が著しくなりました。それに加え、昭和 30 年代後半から渇水が続き、東京オリンピック直前には深刻な水不足となり、真夏の首都は、「東京砂漠」と言われるほどの厳しい状態となりました。

そこで、既存の農業用水の安定化を軸に立案された利根導水路計画の一環として武蔵水路が計画され、都市用水及び浄化用水として利根川の水を首都圏に運ぶものとなりました。

地元の方々のご理解とご協力により水路は短期間で完成し、清澄な利根川の水を休みなく送り続けています。そのような武蔵水路も完成後約 45 年（平成 22 年）におよぶ年月の経過とともに、老朽化による通水能力の低下が見られるようになりました。そのため、平成 22 年 8 月より約 6 年の歳月をかけ改修工事が行なわれ、平成 28 年 3 月に武蔵水路改築事業が完成しました。今回の見学会は、首都圏にとってなくてはならない「武蔵水路」を見学します。

**下記のとおり実施しますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。**

日 時 6 月 25 日（土） 8：30 集合  
集合場所 JR 新小岩駅 東北広場（裏面地図参照）  
参加費 1,000 円（資料、交通費、保険料の一部として）  
募集人数 45 名（先着順） eizoutosikeikaku@outlook.com 携帯 080-4006-8819  
行 程 8：30 出発（集合次第出発します）

利根大堰  
忍城・さきたま古墳公園  
埼玉県糠田排水機場  
秋ヶ瀬取水堰  
道の駅（お土産購入 産直野菜等）

17：00 JR 新小岩駅 東北広場 到着・解散

（※行程及び時間については、交通状況等により変更があります。ご理解・ご協力をお願いします。）

※昼食はご持参下さい。特に昼食時間を設けません。  
各自適宜お召し上がり下さい。

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会・関東地域づくり協会

# 武蔵水路の役割

武蔵水路は、利根川と荒川を結ぶ延長 14.5 km の水路で 3 つの役割を担っています。

## 1. 都市用水の導水

利根大堰で取水した東京都と埼玉県都市用水を荒川へ導水しています。(導水した水は、下流の秋ヶ瀬取水堰などで取水され、東京都の朝霞浄水場や埼玉県の大久保浄水場などへ送られています。)

## 2. 浄化用水の導水

荒川水系の水質改善のため、浄化用水を導水しています。浄化用水は、秋ヶ瀬取水堰から新河岸川へ朝霞水路を通じて流れこみ、下流の隅田川の浄化も行なっています。

## 3. 周辺地域の内水排除

都市用水と浄化用水の導水に支障のない範囲で、周辺地区の河川の洪水や市街地からの出水を取り込み、荒川に排水しています。

# 武蔵水路改築事業の目的

武蔵水路の課題を解決するとともにさらに機能を強化するため、武蔵水路改築事業は3つの目的をもっています。

## 1. 安定通水機能の回復

地盤沈下や老朽化により低下した通水機能の回復を図ります。また、大規模地震発生時にも被害を最小限に防止して通水機能を確保するため、施設の耐震化を図ります。

## 2. 内水排除機能の確保・強化

水路周辺地区の浸水被害の軽減のため、内水排除機能の確保・強化を図ります。

## 3. 荒川水系の水質改善

荒川水系の水質改善のため、これまでと同様に利根川から浄化用水の導水を行ないます。

# 事業の範囲

武蔵水路改築事業では、水路全線の延長約 14.5 km を事業の範囲とします。



## 新小岩駅東北広場案内図



## 集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

